

NPO プラス・ド・西東京 18 周年記念

「和力」参上!

～祈りが形となり、舞台にその姿を現す～

地域の架け橋になることをめざして設立した NPO プラス・ド・西東京は、おかげさまで 18 周年を迎えます。6 周年公演で大好評だった「和力」を再び呼びます。日頃の感謝を込めて、みなさまと楽しい夜を過ごせれば幸いです。

12/5 (Fri)

タクトホームこもれび
GRAFARE ホール 小ホール

開場：18 時 00 分

開演：18 時 30 分

チケット：(全席自由)

前売り 2,300 円

当日 2,500 円

日本各地の伝統芸能を礎として、
美しく新しく創造された
圧巻の舞台をぜひ
体感してください。



NPO プラス・ド・西東京

申し込み・問い合わせ：042-439-6353

event@passerelle.or.jp

加藤木 朗 (和力主宰)



秋田県の劇団わらび座で生まれる。

お囃子、神楽、獅子舞、舞踊など、現地保存会を取材して学んださまざまな芸能に独自のアレンジを加え舞台化している。2002年パリでクリスチャン・ディオール春夏オートクチュールコレクションに出演。自ら結成し

た『和力』では、篠笛奏者の木村俊介、津軽三味線奏者の小野越郎と共に、芸能と音楽を融合させた演目を発表し続けている。

これまでに15か国で公演。近年では落語家の立川志の輔師匠の独演会にゲスト出演、2019年6月にはG20関係閣僚会議レセプションに出演した。

音楽家や、舞踊家、人形師、落語家、デザイナーとの共演もする傍ら、芸能の指導、舞台構成、振付、演出、原作・脚本の執筆等も手掛けている。長野県阿智村在住。

うかれ 羽化連

加藤木 朗の弟子、平澤久美子、櫻田真央によるユニット。

同氏の稽古場で共同生活を送りながら、芸能の根幹にある農業や狩猟を通じ、身体の使い方や舞台づくりに必要なものの考え方を学んでいる。

篠笛、三味線、胡弓や五絃琵琶などの和楽器を用いて、全国各地の神楽や盆踊りなどの芸能と音楽を融合させた舞台づくりをしている。近年では「芸×農塾」「南信州和楽器発表会」の企画、運営、地域の和太鼓チーム、和楽器グループで指導をするなど、活動の場を広げている。



木村 俊介

和楽器奏者(笛・三味線他)として活動する一方、演劇や舞踊等、様々な舞台で作曲・音楽監督を担当。

海外での活動も多く、これまでに世界



5大陸35カ国の音楽祭にて招聘演奏。'20年より、エッセーとCDによる会員制季刊誌『音之文』(オトシブミ)を発行。'23年より、カヤグムの朴 淳啊氏との日韓定期開催LIVEプロジェクト『鵲の橋の上で』をスタート。'24年、英国のピアニスト・Kit Downes とコンサート『Bitwixt mortality and immortality』を開催(ロンドン・Kings Place)。

小野 越郎

秋田県仙北市出身。津軽三味線を山田千里師に師事し、本場青森県は弘前の民謡酒場にて修行を積む。

劇団わらび座の三味線奏者として活動の後独立。

白石市を拠点に、伝統曲・自作曲を織り交ぜたソロ演奏活動を開始。世界的な民族音楽フェスティバル「WOMAD」をはじめ、これまでに20ヶ国以上の音楽祭などに招聘出演し好評を得る。津軽三味線の持つ力強さや独特のリズム・音色の多彩さを基に、独自の表現を求めて創作活動を続けている。



公演内容の一部

だんじり
鶏舞
津軽三味線
篠笛

